

4・3 被災状況 (4・4A、Y)

死亡 1万2087人

安否不明 1万8119人

避難 16万1643人

避難所 2176

4・4 各紙社説

A 「岐路に立つ電力文明—持続可能な暮らし求めて」

M 「住民の集団避難—共同体を全力で守ろう」／「センバツ閉幕—日本復興の出発点に」

Y 「震災後世論調査—首相の指導力不足に厳しい声」／「義援金詐欺—善意につけ込む悪を許すな」

N 「安心・安全の信頼を世界で取り戻すには」

T 「被災地に新学期—学校再開が心を癒す」／「高齢者支援—疎開先で十分な介護を」

サ 「入学式—学校再興で勇気と希望を」／「中国の国防白書—異様な増強と緊張改めよ」

H 「取り調べ全過程可視化—密室ブラックボックスを開け」

→4・4A 「放射能漏出抑止に数ヵ月—政権見通し、海へ汚染水続く」「汚染水ジレンマ—冷却水投入3万トン→一部は海へ、流出量はつかめず」

「遺体埋葬、悩む自治体—国『民間に頼んで』・葬儀業者は『対応限界』—自衛隊頼みの状況続く」「中国原発急ブレーキ—転様子見、審査厳しく—不安拡散、『安全』を強調」

→4・4Y 「震災対応『大連立を』64%、本社世論調査—政府の原発対応『評価せず』61%／T 「事故25年、苦悩今も—チェルノブイリ原発『解決100年かかる』『帰郷は墓参だけ』」／サ 「チェルノブイリ事故25年、消えぬ不安—『安全』なお数十年」「放射能拡散との戦い続く、薬剤大量

散布で農地保護」

→4・4Aタ「津波、標高 38 メートルまで到達—岩手・宮古」 「研究施設に
大打撃—損壊、遺伝子サンプルも加速器も『長年の蓄積失われた』」 「24
時間寄り添いケア—災害支援ナース、避難所泊まり込み—全国から1ヶ
月で1000人」 / Yタ『拡散予測公表せず、福島原発の放射性物質—政
府、欧州気象機関は開示—気象庁、連日 I A E A に報告』 / Nタ「泥処
理『人足りない』 宮城・石巻—悪臭や衛星悪化、住民悲鳴」

汚染水放出—海洋汚染と漁業被害に歯止めなく

4・4 被災状況 (4・5A、Y)

死亡 1万2259人 (宮城7481、岩手3592、福島1126··)

安否不明 1万7864人 (宮城8936、福島4480、岩手4444··)

避難 16万6760人 (宮城6万5693、岩手4万9020、福島2万7325
··)

避難所 (Y) 2138 (宮城508、岩手353、福島299··)

建物被害 (N) 20万2652戸

(注) 安否不明—警察庁まとめで行方不明1万5315人 (4・5Y)

●汚染水、1.1万トンの海へ意図的放出始める (東京電力) —福島第1原
発の集中廃棄物処理施設 (放射能6.3ベクレル/cc) の1万1500トン
を放出 (数日かけて) —このほか、5、6号室の周りの地下水をためてい
る升の1500トン (放射能1.6~203ベクレル/cc) も放水→2号機ター
ビン建屋地下の高濃度汚染水 (数百万3ベクレル/cc) の保管場所を確
保するためとする (4・5A)

●北茨城沖のコウナゴから放射性ヨウ素検出 (北茨城市、平潟漁協発表)
—4080ベクレル (1kg当り)、放射性ヨウ素、セシウムも (暫定基準500

ベクレル→447 ベクレル) 一魚や肉には、放射性ヨウ素の暫定基準の定めなし (4・5A)

●政府、出荷制限見直し決定一「県単位」から「市町村」単位へ (4・5Y)

●農・漁業被害 (7 道県が農水省に報告、4・4 夕現在)

北海道一漁船 703 隻 (全体 1 万 6293)、漁港 21 (全 282)

青森県一漁船 546 隻 (全体 6990)、漁港 17 (全 92)、田畑 79ha (全 1 万 9680)

岩手県一漁船・壊滅的 (全体 1 万 522 隻)、漁港・壊滅的 (全 142)、田畑 1838ha (全 1 万 5649)

宮城県一漁船・壊滅的 (全体 9717 隻)、漁港・壊滅的 (全 142)、田畑 1 万 5002ha (全 3 万 5777)

福島県一漁船 896 隻 (全体 1068)、漁港・壊滅的 (全 10)、田畑 5923ha (全 2 万 9461)

茨城県一漁船 249 隻 (全体 1215)、漁港 15 (全 24)、田畑 531ha (全 2 万 1679)

千葉県一漁船 335 隻 (全体 5640)、漁港 10 (全 692)、田畑 227ha (全 4 万 826) (以上、4・5Y)

4・5 各紙社説

A 「避難所を出る一健康と復興のために」 / 「検察改革一刑事司法の将来像を探れ」

M 「新学期一復興のチャイムよ響け」 / 「放射線監視一透明性と体制の強化を」

Y 「原発と温室ガスー『25%削減』の撤回が不可欠だ」 / 「検察改革提言一外部の声生かし具体化進めよ」

N 「混乱防止へ『食品・水』規制の運用詰めよ」 / 「教育復興に手立てを」

T 「青写真と手法を早く一震災復興策を考える」

H「震災と労働者―被災地の実情踏まえ雇用守れ」

右往左往―「大連立」と原発事故対策で

→4・5M「低濃度汚染水海に放出、福島第1原発―高濃度の保管先確保、東電『影響は軽微』」「汚染水放水、追い込まれ『禁じ手』」―4号機へ移送『失敗』、高濃度玉突き―貯蔵先当て外れ」／A「揺れる線引き、農家『いつも振り回される』」―3週下回れば停止解除、条件に戸惑い―「風評、あせる政権、ルール作り後手―流通、自主検査の動き」「核の番人、原発に苦慮―IAEA、『権限ない』対応に限界」「採用『増やす』倍増―100社調査、震災で変更の可能性―適正な採用規模つめず」「賃上げ交渉を大震災が痛撃―連合、中間集計」／Y「高汚染水封じ込め難航―流出所付近、海に鉄板囲い設置へ」「追い込まれ非常手段、低濃度汚染水海へ放出―漏水防止決め手なく、東電『危機的状況を回避』」―圧力容器冷却を優先、東電『人への影響小さい』」「電力不足、GDP3.9兆円押し下げ―民間試算」「『復興に弁護士人生ささぐ』」―大阪からの移住、気仙沼で被災業務再開」「輸入規制25カ国・地域―日本農産物、影響長期化か」「『津波想定甘かった』」―耐震指針関与、入倉氏が謝罪（07年耐震安全性評価特別委員会委員長）―福島第1原発「多重防護に弱点」―大丈夫、うそだった。人災だ」「被災者支えていくには、地域ごと包み復興の拠点に―避難先の分散で孤立、巨大団地活性化に期待」／H「個人補償今こそ抜本拡充を、大震災の復興に不可欠―『阪神』後に被災者と共産党が動かす、大胆な支援、政治の焦点に」

→4・5N「大連立構想―民主、『補正』呼び水に―自民に期間限定案―谷垣総裁、早期解散論を封印」「首相進退からむ展開―『退陣が条件』『菅氏のまま』」―本格協議、5月か」／H「民、自『大連立』の動き急―『危機

管理』にほど遠く、財界は『改造改革』推進を要求」

→4・5A 夕「原子力冷却進まず一1号機なお200度超／2号機続く水流出」

「見えぬ原子力安全委一技術面の助言役のはずが」「韓国から反発一汚染水放出『通報ない』」

4・5 被災状況 (4・6A、Y)

死亡 1万2431人

安否不明 1万7777人 (警察庁まとめ1万5153人)

避難 16万3008人 (Mまとめ16万4315人)

●魚介類にヨウ素基準決定一政府、魚介類に野菜と同じヨウ素基準一1キロ当たり2000ベクレル (4・6A)

●自民谷垣総裁、大連立拒否 (記者団) — 「政策のすりあわせもないところでの連立はあり得ない。野党として震災対応の協力をきちっとやる」／公明・山口代表 (記者会見)、「(大連立に)健全なチェックが働かなくなる」「(実績上げたこと)さらに進んで連立を組むことが、どれほどの意味があるのか」 (4・6Y)

4・6 各紙社説

A 「低汚染水放出一政治がもっと責任担え」／「食の安全一対策は素早く幅広く」

M 「被災と雇用支援一官民挙げて全国で」／「震災国債一日引受けを排す」

Y 「原発汚染水一冷却機能の回復で放水進めよ」／「浦安市選挙拒否一有権者本位で善後策を探れ」

N 「世界は日本の部品・素材を待っている」／「長期の監視で魚の安全保て」

T 「福島第1原発一情報隠しは許されない」／「大震災と菅政権一性急すぎる大連立構想」

- H 「福島原発事故—安全確保と抜本見直しを急げ」
- 4・6A 「復興対策、組織乱立—官邸体制整備急務」
- 4・6Y 「魚介、野菜と同じ規制値—放射性ヨウ素、政府急きょ決定」「大連立、谷垣総裁が拒否—菅政権と『政策すりあわせない』」「『汚染水』省庁連携悪く、経産省—農水、厚労省と調整なし」「泥縄式の魚介規制値—『根拠分らない』水産庁、風評被害の拡大懸念」「原発対応いらだつ各国—汚染水放出『無責任』、韓露ら反発の声—米、繰り返した楽観発言覆った／英、なぜ支援求めなかった」「緊急事態法の制定急務—志方俊之氏」／A 「汚染水放出—海外が懸念、情報開示に不満—日本『条約違反ない』（関連条約—①海洋環境の保護・保全を定める国際海洋法条約、②原子力事故の早期通報に関する条約）」
- 4・6M 「原子力保院分離へ—経産省と一線、安全委と統合、規制強化」
- 「うめく漁業者—茨城産コウナゴ、セシウムも—仲買人は買い控え」「福島、東電に賠償請求—県方針、避難や放射線測定値—『最終的には国の責任』首相、双葉町村会に支援約束」「被災地野菜を積極販売、スーパー・百貨店—大震災・原爆事故、続く企業の支援—風評被害に負けるな、避難生活にぬくもりを—被災者に無料提供、コーヒー・焼き肉」「工業製品も風評被害、取引先『安全確認ないと契約破棄』—放射性物質、福島県検査、業者が殺到」
- 4・6N 「大連立混沌—民主から秋波／自民総裁『一言も言ってない』—埋没懸念、様子見の公明」
- 4・6Aタ 「高濃度汚水、流水止まる—福島第1、原発内なお6万トン」
- 「低濃度分放出—総量は8500トン」「東北沿岸地図かわる、地盤沈下で町並み水没—面積減、交付税に影響」／Mタ 「建物がれき2490万トン—岩手・宮城・福島」「米軍、原発・復興に軸足—震災支援『同盟より強固に』」「裁判員裁判いつ再開—候補者通知できず、被災地4地域1支部苦

慮」「文化財の被害 463 件」／Ｙ夕「『東北に巨大地震』予測してた一地震調査本部、福島県に説明直前」一国の地震調査研究推進本部、2月に宮城県に説明、福島県に3月中にその予定／M夕「汚染水対策総動員、福島第1原発一立て杭下に止水剤、海底まで『カーテン』」「東電、賠償金仮払い一額確定前、住民や農家に」／Ｙ夕「原子力大綱の改定中断一原子力委員会、事故収束に全力」／N夕「全国の自治体、被災企業支援一工場など一時貸与一福岡県・地元の取引先紹介、神戸市・賃料を1年間免除」「放射線の累積量注視一流出続けば生物も汚染、健康への影響当面なし」

原発推進学者ら反省一「甘かった」では済まない

4・6

被災状況 (4・7A、Y)

死亡 1万2554人

安否不明 1万7692人 (警察庁まとめ1万5077人)

避難 16万0625人

避難所 2330 (宮城 489、岩手 378、福島 278、北海道 191、青森 181、山梨 145・・)

●全漁連、東京電力へ抗議一「人為的汚染水の放出」で／東電会長陳謝 (4・6A夕)

●福島第1原発2号機近くの高濃度汚染水、流水止まる一原発内に高濃度分6万トン残留 (4・6A夕)

●爆発防止へ窒素注入 (東電発表) 一1号機の格納容器内の水素爆発防ぐため (4・7A)

●「認識甘かった」と陳謝 (衆院経済産業委) 一原子力安全・保安院寺坂信昭院長、昨年5月の同委で電源喪失は「あり得ないだろうというぐら

いまでの安全設計はしている」との答弁につき「当時の認識について甘さがあったことは深く反省している」／斑目春樹・原子力安全委員長（電源喪失の可能性否定）、「事故を深く反省し、二度とこのようなことが起こらないようにしたい」／前原子力安全委員長（現・日本原子力研究開発機構理事長）鈴木篤之氏、「国民の皆様に変な申し訳ないと思っている。痛恨の極み」「（電源喪失の事態に備えてこなかったこと）正しくなかった」－共産吉井英勝議員の質問に対して（4・7A）

4・7

各紙社説

A 「被災地の学校一子どもに笑顔を戻そう」／「無罪破棄一新時代の高裁の役割は」

M 「震災と国際社会－世界への発言足りない」／「電力節約－夏に向け早く具体策を」

Y 「試練から1ヵ月－行きすぎた自粛は活力を奪う－製品の購入や旅行で東北に支援を」

N 「企業は震災の影響開示に一段と努力を」／「広域連携でがれき処理急げ」

T 「被災地の水産－再起の足を引っ張るな」／「大相撲の行方－『生まれ変わる』決意を」

H 「震災と子どもたち－最大限の安心と希望届けたい」

→4・7A 「震災で県外転校 7000 人－小中高・本社集計、新潟へ転入最多」

「風評警戒、魚も一価格暴落『漁業どうなる』、店頭買い控えの動き－補償枠組み、なお時間」「燃料棒損傷推定－1号機 70%・2号機 30%・3号機 25%」「『トモダチ』真価問う、震災下の日米同盟－救援＝異例の米軍大規模展開、米の世論も後押し／原発＝『未知の体験』対応に双方不満も、意思疎通課題残す／普天間＝余裕なくなった日本政府、米側、進展に悲観論／有事並み作戦調整一体、横田に米統合部隊・自衛隊幹部も

常駐」「自民硬化、しぼむ大連立—『首相続投』前提に反発」「政権、避難地拡大を検討—積算放射線量で新基準—安全委、20 ミリシーベルト」
 「作付け延期要請—福島県一部解除、北部市町村除き」／M「漂流避難—『医者に行けず、役所にも頼れない…』故郷遠く離れ凍死した認知症の母」「低濃度汚染水放出、事前説明は不十分—枝野長官、不手際『反省』—外務省、韓国に状況説明」／Y「炉心改善進まず—3号機容器、1次167 シーベルト—東電計測値、燃料棒溶融の可能性」／N「インフラ復旧に1兆円—1次補正政府案、総額3兆円超え確実」／T「被災地で肺炎急増—津波の水・がれき原因」

→4・7H「福島原発事故は人災—警告に耳貸さず発動に遅れ、『英知総結集し危機回避を—衆院委、吉井議員が告発』」「原発事故集中審議、吉井議員質問—警告が現実になった—保安院長『認識甘く深く反省』」／経産相『(想定外は) 使うべきでない』

→4・7Y夕「汚染水放出各国に懸念—IAEAの会議(4・4開催—3日目)、日本対応に不満」「土壌汚染農家に不安—作付け延期・解除、『基準が不明』」「避難地域見直しも、『圏外』戸惑いと評価」「障害者の職場も打撃—福島県内被災・原発風評、半数が減産、休業」

4・7 被災状況 (4・8A、Y)

死亡 1万2690人

安否不明 1万7026人 (警察庁まとめ1万4736)

避難 15万7600人

避難所 2340

福島原発事故「レベル6」－「レベル7」に近づく

- M7.4余震発生一午後11時32分頃、宮城県沖を震源とする地震←3・11
巨大地震後で最大一岩手、宮城県を中心にけが人多数（4・8各紙朝刊）
→3人死亡（宮城、山形）、230人近く重軽傷（東北6県）（4・9A）
- 福島事故「レベル6」（4.6ウィーン）－国連放射線影響科学委員会・バイス議長、福島原発事故の国際評価では「レベル6」（大事故）との見解
－「チェルノブイリほど大規模ではないが、スリーマイルより深刻であることは確かだ」、「（太平洋に面しているため放射性物質の）大部分は希釈され、人体への影響は少ないだろう」（4・7T夕、M夕）
- 福島第1原発「制御不能」－EU・エッティンガー欧州委員（エネルギー担当）、欧州議会本会議で（仏、ストランブール）、「復旧作業が依然として続いており、原発を制御するには至っていない」と発言←3・16
発言「原発は制御不能に陥っている」「（日本当局の対応を）場当りの」と批判（4・7M夕）
- 韓国各地で126校休校－放射能への懸念で、ソウル付近の京畿道で一南西部金羅北道の5校も（4・8T）
- 沖縄県で放射性ヨウ素検出（文科省発表）－南城市で1平方キロ当たり4.8ベクレル（1メガベクレル＝100万ベクレル）、宮崎市でも2.5メガベクレル検出（4・8T）
→4・8各紙社説
- A「放射能と避難－住民のため観測充実を」／「自衛隊の働き－普段の見直しが生きた」
- M「原発震災－中長期の見通しも示せ」／「大規模5月場所－被災地支援に知恵絞れ」
- Y「政治の役割－復興の青写真を早急に示せ、期限付き大連立で強力政権

を」

N「資金繰り支援で経済の低迷を最小限に」／「原発事故『レベル 6』に見直せ」

T「自粛ムード一応援消費が復興支える」／「電力確保一『東西融通』の増強生かせ」

H「大相撲場所開催一被災地とともに楽しめるのか」

→4・8A「宮城震度 6 強一福島第 1、作業員無事一女川・東電、電源一部支障一M7.4 余震、けが多数、東北 4 県全域で停電」「最大の余震また津波警報一暗闇の避難所に悲鳴、窓ガラス割り飛び散る」「廃炉『10 年半に短縮可能』一福島第一、東芝、東電へ提案一日立と GE も検討一格納容器、破損阻止へ」「住民たち右往左往、第 1 原発の周辺市町村一南相馬、自主避難形骸化、30 キロ圏外、蓄積する放射線量『戦いは長く続く』一20 キロ圏内、一時帰宅へ募る期待」「コメ作付けに禁止区域一農水省、汚染推計もとに指定へ」／M「20 キロ圏一時帰宅へ一政府方針、封鎖前提検討一手付かずの現場に 250 人、警視庁・20 キロ圏搜索」

／Y「液状化 11 市区で一東京・千葉・神奈川 1100 棟損壊」「東京湾液状化に悲鳴一傾く家『修理に 1000 万円』」／N「レジャー、4 割『客足半減』一震災で自粛、西日本でも一『回復は秋以降』6 割超える」

→4・8A夕「余震、停電 400 万戸一東北 6 県、死者 2 人、けが多数」「M7 級余震、警戒必要」「宮城県沖、海底のずれ最大 55 メートル一津波を増幅、東大地震計が解析」「怖くてたまらない一1 ヶ月前の記憶再び、津波警戒高台へ渋滞」／M夕「女川原発、建屋で汚染水漏れ一燃料プール、冷却一時停止」

大震災と原発事故—政治の「炉心」崩壊を招くか

4・8

被災状況 (4・9A、Y)

死亡 1万2787人

安否不明 1万7307人

避難 15万4234人

避難所 2331

(注) 安否不明は、警察庁まとめは1万4991人、他の数字は同庁まとめと一致

●**コメ作付禁止基準発表**—政府、イネの作付け禁止につき土壤中の放射性セシウム5000ベクレル(1kg当り)を超える水田を対象—半径30キロ圏内も原則作付禁止(4・9A)

●**出荷停止1部解除**—群馬県産ハウレンソウ・カキ菜、会津地方原乳について(4・9A)

●**義援金の配分割合決定**—義援金配分割合決定委員会(堀田力会長)、第1次分約500億円につき、死亡・行方不明者1人当り35万円(約2万7000人)、住宅の全壊・全焼1戸当り35万円(約4万6000戸)、住宅の半壊・半焼同18万円(約1万戸)、原発30キロ圏内(約6万5000世帯)につき全て「全壊」とみなし1世帯当り35万円(4・9Y)

●**特捜事件「全面可視化」を指示**—江田法相、笠間治雄検事総長に対し、「**検察の在り方検討会議**」の提言を踏まえ—原則として全事件で全面可視化の試行を指示(4・9Y)

→4・9 各紙社説

A「M7余震—揺れても守れる態勢を」／「節電対策—料金の仕組みも柔軟に」

M「震度6強—余震との闘いも続く」／「世界経済と中銀—難局ゆえに問

われる力」

Y 「復旧・復興へ『想定外』に備え英知の結集を、大津波と原発事故の教訓を生かせ」

N 「省電力に知恵をしぼり工場を動かそう」／「相模の危機は去っていない」

T 「究極の防災を考えようー大震災からの復興」

サ 「コウナゴ汚染ー基準にきめ細かさ必要」／「大きな余震ー地震活動機に警戒強めよ」

H 「いっせい地方選投票へー震災と原発、命と安全守る党を」

→4・9A 「余震、不安なおー非常用発電機使えず、東電／故障したまま 1 週間、女川ー原発冷却綱渡り」「東北へ首都圏、今も地殻変動」「街角景気ー最大の下落幅ー3 月調査、震災先行き懸念」「宮城県、津波で農地被害ーコメ生産他県へ振り分け」「住民の半数把握できずー原発周辺 8 町村、散り散りに避難ー避難所巡り情報収集／携帯で知人たどる」／M『震度 6 強余震ー原発もろさ再び露呈、電源トラブル拡大ー『プール弱点』明白に』」「安全と不安の海、英北西初部ー重大事故続く核施設、影響論議は未決着」／「外交人観光客激減、ドル箱シーズン空白だらけの宿帳ー原発事故過度の不安、各国が渡航自粛勧告」／Y 「原発危機収束見えず、『福島第一』事故ー燃料棒なお一部露出ー『冷却』復旧作業へ、汚染水除去急ぐーチェルノブイリと共通点、『過酷事故』に相当」／N 「世界への影響『40 兆円』ー半導体関連の生産停止、政府が試算

→4・9A 夕「放射能露出 1 割以下かー1~3 号機原子炉内、なお大量に」「3・11 地震時、都内にいた人ー300 万人、当日に家に帰れずー東大助教授ら推計」「奥行き浅い湾、駆け上がる津波ー地理学会が写真分析」「銀座の夜暗いままー自粛響き資金繰り相談増」／M 夕「被災 3 県沿岸部、医師不足さらに悪化ー死亡・不明 18 人、多くが開業医」「自粛の春花見考ー

東北の酒蔵『被災地の酒飲んで長く支援を』一節電で夜桜より日中にぎ
わい」「原発新規、米6割反対」一世論調査、前週比10ポイント増加」「『40
キロ圏外は避難不要』一米規制案勧告見直し検討、『80キロ圏外』核燃
料全損前提」

4・9 被災状況（4・10A一警察庁まとめと合わせる）

死亡 1万2915人（宮城7869、岩手3783、福島1201・・・）

行方不明 1万4921人（宮城6578、岩手4804、福島3535・・・）

避難 15万3680戸（宮城5万6167、岩手4万8736、福島2万5886
・・・）

避難所 2387（宮城492、岩手249、福島249、北海道203・・・）

東北3件の被害

宮城県一全壊2万9692戸／がれき1429万トン／断水62万戸／停電154
万5494戸

岩手県一全壊1万5026／がれき550万トン／断水18万戸／停電81万
6499戸

福島県一全壊2490／がれき229万トン／断水40万戸／停電38万1788
戸

- 「原発対策すべて見直し」論一経産省原子力安全・保安院西山英彦審議
官、「多重防護、5重の壁など絶対大丈夫と言ってきたことについて
信じてやってきたが、こういう事態になった」「今回の経験を踏ま
え、これまでのことにとらわれず、すべてのことについて見直す必
要がある」（4・10サ）

→4・10 各紙社説

A「非常時の支援一政治はより臨機応変に」／「魚の安全一検査の仕組み
を早く」

M「震災後復興と再生一日本の未来示す構想を」

Y「電力使用制限一夏場乗り切りに節電の徹底を」／「トモダチ作戦一日米同盟深化の重要な一歩だ」

N「知恵と力を結集し復興と原発危機克服を」

T「新たな復興を目指そう一週の初めに考える」

サ「大震災1ヵ月一国家再興へ総力結集せよ、菅首相の失政の責任は重大だ」

H「被災地の農業一生産再開が復興への第一歩」

→4・10A「死者1万2915人、半数高齢者一あす震災1ヵ月、安否確認は難航」
「検証、福島第1原発一『1～5号機、全電源喪失！』」
「津波防災見通し急務一計300キロの堤防6割全半壊、『世界最深』も崩れる一浸水予測凶、過信は危険」
「金融不安ひとまず回避一日銀、協調介入・120兆円供給」
「汚染でバイオマス燃料一福島・飯舘村長が提案、ナタネなど原料代倍」

／M「福島第1原発の1ヵ月、複合事故見えぬ収束一電源喪失対策限られ、なぜ悪化一冷却装置外付け案も、今後は」
「被災者支援で遅れ、官邸チーム乱立官僚に戸惑い一東電撤退首相が阻止、『原発放置したら米が占領に来る』一災害対策、与野党とも存在感薄く」

／Y「検証・東日本大震災のあす1ヵ月一原発危機苛立つ米、政府、初動から後手」
「震災対応見えぬ司令塔、本部や会議が乱立一指揮乱立、官僚も『不明』一内閣危機管理監動けず」
「官僚、首相の指導力に不満一『次官会議』復活は歓迎、省庁幹部聞き取り調査」
「震災選挙異例づくし、統一地方選一各党、被災地や対応を重視／選挙カー、啓発行事自粛」

N「外国人労働者の不足深刻、原発事故受け帰国一外食、農場、人手確保に躍起一依存の実態浮き彫り、受け入れ努力今後も必要」

／T「福島原発廃炉どうなる一核燃料処分が難題、健全な炉でも20年一石棺化、コンクリ崩れる恐れ」
「全原発10メートル津波『想定外』、55基各社対策急務に一防波壁など設置へ」

